

日本初公開!

女を修理する男

THE MAN WHO MENDS WOMEN

共催：立教大学グローバル教育センター

[illegible]

WWW.MUKWEGE-THEMOVIE.COM

女を修理する男

Golden Butterfly A Matter of Act—Movies That Matter 2015

Special Human Right Award—Millenium 2015

Audience Award—Millenium 2015

Documentary Award—Vues d'Afrique 2015

Human Right Award—Vues d'Afrique 2015

Television Award—Avanca Film Festival 2015

Audience Award—Cine Droit Libre 2015

Grand Jury Prize—Fifdh Guadeloupe

Special Mention—Docsdf Mexico Festival International de Cine Documental de la Ciudad

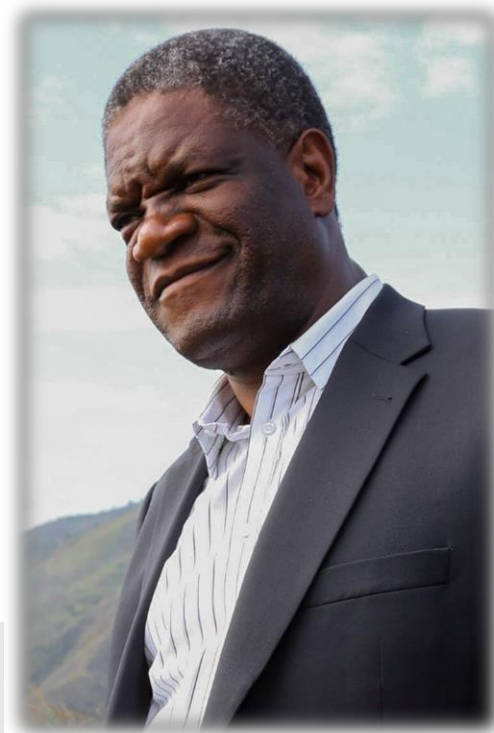
Audience Award—Festival International du Cinema d'Alger

Humanun Award—Union de la Presse Cinematographique Belge

Special Jury Recognition Documentary—Pan African Film Festival Los Angeles

Magritte Du Meilleur Documentaire—Cereemonie des Magrette du Cinema Belge 2016

Coup de Couer du Jury—Les 20^e Rencontres Cinematographiques Hexagone



「女性と少女にとって世界最悪の場所」とも描写されるコンゴ東部。

コンゴ戦争が勃発してから 20 年が経つ。その間、「紛争鉱物」の実態に関する認知は高まり、国際社会はその予防策に取り組んできた。しかしコンゴ東部の状況は改善されないまま、この地域に住む人々の苦しみは続き、大勢の女性、少女、そして男性が性暴力の被害にあっている。**紛争鉱物、グローバル戦争経済と組織的な性暴力は相互関係にあるが、その事実はほとんど知られていない。**

本作品は、暗殺未遂にあいながらも、医療、心理的、そして司法的な手段を通して、婦人科医のデニ・ムクウェゲ氏が性暴力の生存者を献身的に治療する姿を映している。それに加えて、生存者の衝撃的な証言、加害者の不処罰の問題、希望に向かって活動する女性団体、そしてこの悲劇の背景にある「紛争鉱物」の実態も描かれている。

ムクウェゲ氏は 1998 年、コンゴ東部のブカブにてパンジー病院を設立し、これまで 4 万人以上のレイプ被害者を治療し、精神的ケアを施し続けてきた。それ以外に、国連本部をはじめ世界各地でレイプ被害に関する演説を行い、女性の人権尊重を訴えてきた。その活動が国際社会で評価され、これまで国連人権賞（2008 年）、ヒラリー・クリントン賞（2014 年）、サハロフ賞（2014 年）などを受賞した。ノーベル平和賞受賞者の有力候補にも数回挙がっており、2016 年 5 月のタイム誌に、「最も影響力のある 100 人」に選ばれた。



コンゴ民主共和国



監督：テリー・ミシェル／作者：コレット・ブラックマン、テリー・ミシェル／脚本：テリー・ミシェル、コレット・ブラックマン、クリスティーヌ・ピロ／
編集：イドリス・ガベ／製作：テリー・ミシェル／2015 年／112 分／原題：L'HOMME QUI REPAIRE LES FEMMES／字幕：八角幸雄／監修：米川正子
後援：特定非営利活動法人アフリカ日本協議会、公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本、女たちの戦争と平和資料館、日本アフリカ学会関東支部、
日本学生平和学プラットフォーム、ヒューマン・ライツ・ウォッチ、ビジネス・人権資料センター、認定 NPO 法人テラル・ネッサンス、毎日新聞社
当映画上映会は、アフリカ基金、大竹財団と国連広報センターから資金協力をいただいています。
総括：コンゴの性暴力と紛争を考える会